

令和8年度

さ
っ
て
幸手の教育



幸手市のマスコット
さっちゃん



幸手市教育委員会

あいさつ

令和8年度教育要覧「幸手の教育」の発刊にあたりまして、日頃から本市教育行政の推進に格別なる御理解と御協力をいただいておりますことに、改めて感謝申し上げます。

幸手市教育委員会では、令和6年度から令和10年度までの5年間を計画期間とする第3次幸手市教育大綱において、「教育、学術及び文化の更なる振興を図る」ため、「1学校教育内容の充実」、「2学校教育環境の整備」、「3青少年の健全な育成」、「4社会教育の充実」、「5歴史・伝統文化の継承と活用」の5つの基本目標の実現に向けて積極的に推進しております。

本年度は、「第3次幸手市教育大綱」に基づく施策を着実に推進し、その成果をさらに高めていく重要な年度となります。新聞を利活用した読解力の向上、教育DXの推進、教職員の働き方改革の推進に取り組むとともに、学校給食費の無償化を通じて子育て世帯の負担軽減を図り、安心して学べる教育環境の充実に努めてまいります。

また、市制施行40周年を教育委員会としても積極的に盛り上げ、学校教育や社会教育の場を通じて、地域の歴史や文化への理解を深める機会の充実を図ってまいります。

本要覧は、これらを踏まえ本市における教育行政や教育機関の諸活動について概要をまとめたものでございます。

今後につきましても、市民の皆様をはじめ、関係する皆様方の御理解のもと、教育行政を推進してまいりますので、より一層の御支援を賜りますようお願い申し上げます。



令和8年6月

幸手市教育委員会 教育長 山 西 実

目 次

あいさつ		教育長 山西 実	
教育行政	1	資料編	37
教育委員会	2	幸手市の歴史	38
令和8年度一般会計予算及び教育費	3	幸手市の変遷	39
事務局組織及び事務分掌	4	幸手市教育委員会沿革	40
令和8年度幸手市教育行政重点施策	5	歴代教育委員	43
教育行政重点施策体系図	6	附属機関等	45
◆学校教育分野		学校等の概要	46
教育内容の充実と教育環境の整備	8	令和8年3月中学校卒業者の進路状況	47
◆社会教育分野		進学者の推移	47
青少年の健全な育成	12	教職員数の推移	48
社会教育の充実	13	教職員の年齢構成	48
歴史・伝統文化の継承と活用	15	学校給食	49
教育施設	17	指定文化財及び刊行物	51
幸手市内教育施設地図	18	市民憲章等	55
小学校	19		
中学校	28		
学校教育施設	31		
社会教育・スポーツ施設	32		

教 育 行 政

教育行政

◆ 教育委員会

(1) 教育長及び教育委員



山西 実
教育長



会田 研司
教育長職務代理者



高島 勝也
教育委員



藤沼 寛次
教育委員



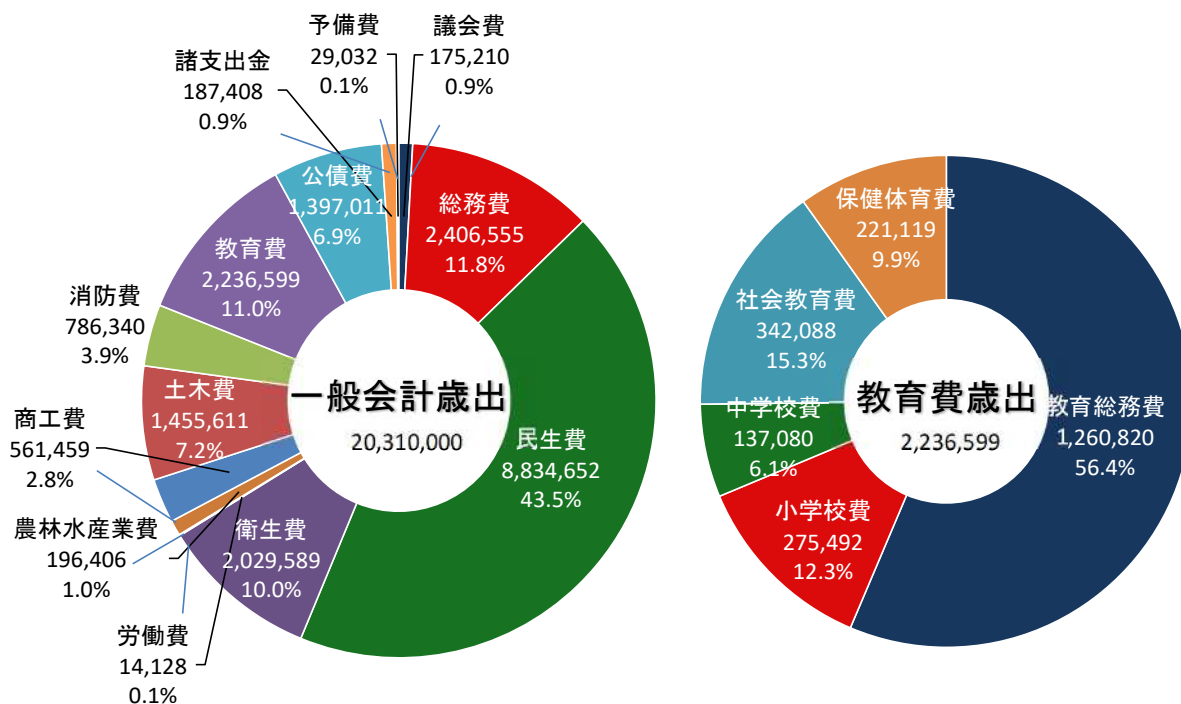
古沢 万友実
教育委員



林 晴実
教育委員

No	職名	氏名	任期	就任日
1	教育長	山西 実	令和 6年 4月 1日～令和 9年 3月31日	平成 26年 4月 8日
2	教育長職務代理者	会田 研司	令和 4年10月 1日～令和 8年 9月30日	平成 30年 10月 1日
3	教育委員	高島 勝也	令和 6年10月 1日～令和10年 9月30日	令和 2年 10月 1日
4	教育委員	藤沼 寛次	令和 6年10月 1日～令和10年 9月30日	令和 2年 10月 1日
5	教育委員	古沢万友実	令和 7年10月 1日～令和11年 9月30日	令和 3年 10月 1日
6	教育委員	林 晴実	令和 6年 6月 3日～令和10年 6月 2日	令和 6年 6月 3日

◆ 令和8年度一般会計予算及び教育費



単位: 千円

(1) 教育費の推移

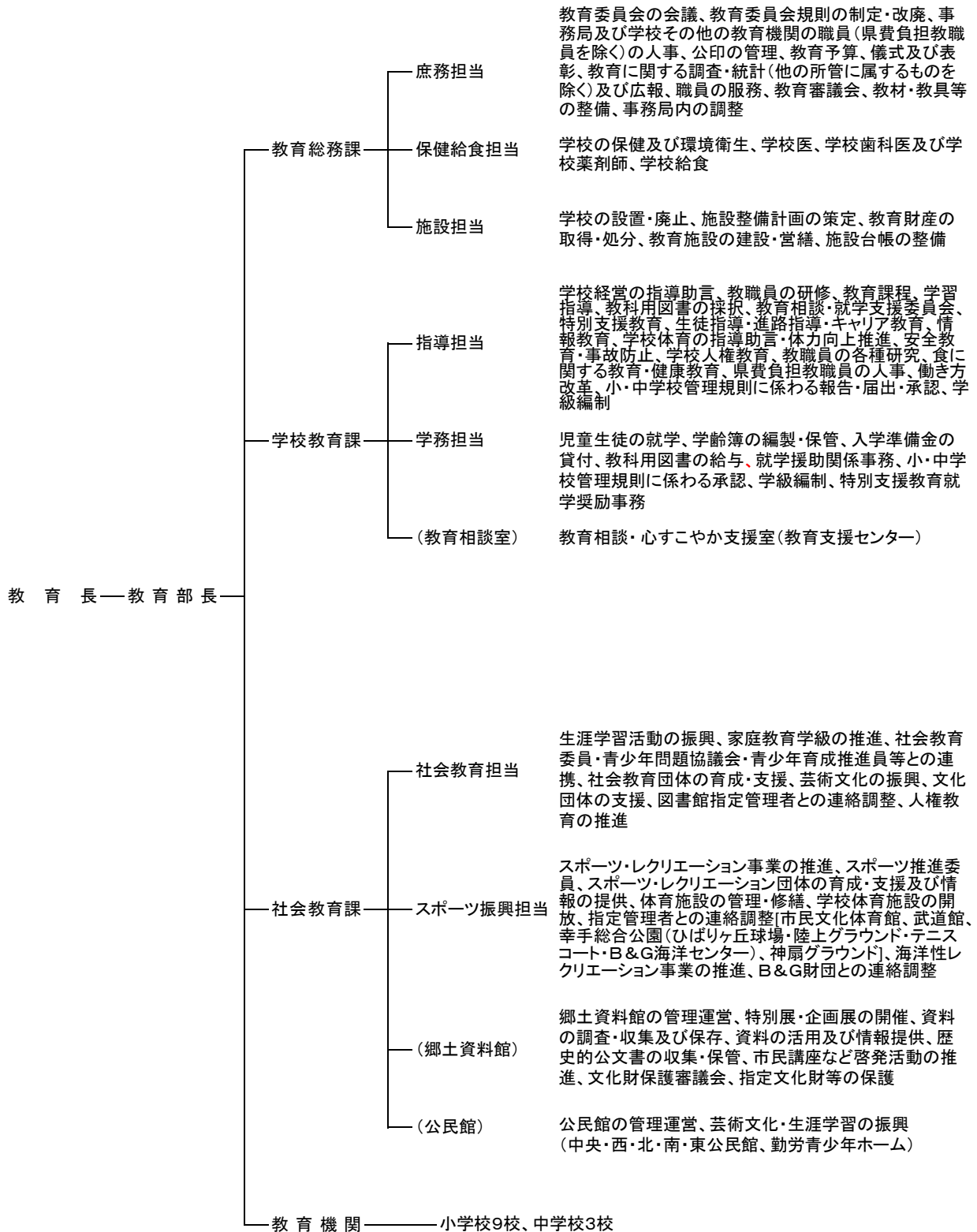
(単位: 千円)

年度	R4	R5	R6	R7	R8
一般会計 (A)	15,940,000	16,570,000	17,155,000	19,290,000	20,310,000
教育費 (B)	1,511,663	1,610,796	1,664,587	1,951,605	2,236,599
比率 (B/A)	9.5%	9.7%	9.7%	10.1%	11.0%

(2) 児童・生徒1人当たりの教育費推移(児童・生徒…各年度5月1日現在)

年度	小学校費 (千円)	児童数 (人)	児童1人あたり (円)	中学校費 (千円)	生徒数 (人)	生徒1人あたり (円)
R4	197,011	2,132	92,406	91,482	1,139	80,317
R5	229,664	1,986	115,641	103,165	1,179	87,502
R6	231,969	1,890	122,734	107,090	1,149	93,202
R7	203,332	1,791	113,529	97,224	1,081	89,938
R8	275,492	1,750	157,424	137,080	985	139,167

◆ 事務局組織及び事務分掌



令和8年度幸手市教育行政重点施策

● 教育行政重点施策体系図

学
校
教
育
分
野

基本目標1

教育内容の充実と教育環境の整備

社
会
教
育
分
野

基本目標2

青少年の健全な育成

基本目標3

社会教育の充実

基本目標4

歴史・伝統文化の継承と活用

SDG s (Sustainable Development Goals)

SDG sとは、Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標) の略称です。誰一人取り残さない、持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現のために定めた 2030年までの17の目標(ゴール)のことを指します。

各具体的重点施策に係る主な取組に該当するSDG sのロゴマークを「SDG sとの関連」欄に表示しています。

	貧困をなくそう		人や国の不平等をなくそう
	飢餓をゼロに		住み続けられるまちづくりを
	すべての人に健康と福祉を		つくる責任、つかう責任
	質の高い教育をみんなに		気候変動に具体的な対策を
	ジェンダー平等を実現しよう		海の豊かさを守ろう
	安全な水とトイレを世界中に		陸の豊かさも守ろう
	エネルギーをみんなに、そしてクリーンに		平和と公正をすべての人に
	働きがいも、経済成長も		パートナーシップで目標を達成しよう
	産業と技術革新の基盤をつくろう		

◆ 学校教育分野

【基本目標1】教育内容の充実と教育環境の整備



◆施策 ★新規・拡充事業 ○実施予定事業

令和8年度 の 具体的重点施策 と 主な取組

◆確かな学力の育成

- ★読解力向上に係る取組の実施（新聞の利活用等）
- 全国・埼玉県・幸手市統一学力・学習状況調査の結果分析と活用の推進
- 実用英語技能検定団体検定料の助成
- 学習者用端末の活用
- 統合型アプリケーション及び学習 e ポータルの活用
- 幸手市中学校学力向上支援事業（映像授業サービスの活用）
- 「さってアフタースクール事業」の推進
- 家庭学習5つの効果等のリーフレットの配布
- 教育課程の円滑な実施
- 学力向上推進協議会、市教委委嘱「学習指導方法改善研究」の推進
- 学校訪問による指導主事の指導・助言
- 教師用指導書等の整備

◆豊かな心と健やかな体の育成

- ★包括的性教育の実施
- 「よりよい生き方を実践する力を育む道德教育の推進事業」の推進
- 郷土資料「道德のまち さって」等の活用推進
- 各小・中学校道德期間の実施
- 道德教育推進協議会議の開催
- 民間事業者による水泳指導の充実
- 体力向上推進委員会の開催・新体力テストの結果分析と活用の推進
- 市内小学校ロードレース大会の開催
- 市教委委嘱「体力向上の研究」の推進
- 家読（うちどく）の推進
- 学校図書館協力員の配置
- 学校図書館の環境整備

○市立図書館との連携

◆社会において自立的に生きていく力の育成

★教育 DX の推進

- PBL (Project Based Learning) の推進 ※PBL=課題解決型学習
- 教育支援センターの活用
- インクルーシブ教育の充実
- ALTの効果的な活用
- 幼保小の連携
- 中学生の職場体験の実施
- 志ノートの活用の推進
- 就学相談の実施
- 幸手市手をつなぐ子らの作品展の実施
- 就学支援委員会の開催

◆人権教育・啓発活動の推進

- 人権作文集の活用
- 人権教育研修会の開催
- 人権課題の理解啓発

◆生徒指導・教育相談体制の充実

- SSR (スペシャルサポートルーム) の充実
- メタバース事業の推進
- いじめ問題対策連絡協議会の実施
- いじめ防止強化期間の実施
- 教育相談連絡会の実施
- 月例長期欠席児童生徒調査の実施と活用
- 各学校における「スマートフォンわたしたちの行動宣言」の活用
- さわやか相談員・ふれあい相談員・教育相談員・心すこやか支援員・教育支援員の配置

◆家庭・地域との連携・協働による学校教育の推進

- ★部活動地域展開の推進
- ★コミュニティ・スクール事業の推進
- デジタル・シティズンシップ教育の推進
- スクールガードの配置や子ども110番の家の設置の充実
- 通学路交通安全プログラムに基づいた児童・生徒の安全確保
- 学校間・校種間の連携
- 地域の教育力や社会教育施設の活用・連携による体験活動の充実
- 学校応援団活動の充実
- 家庭との連携・協働による家庭学習の充実及び家読（うちどく）の推進
- 公民館及び郷土資料館との連携

◆学校の働き方改革と資質向上及び学校評価等を生かした学校経営の改善

- ★学校給食費の公会計化による教職員の業務負担軽減
- ★働き方改革の推進
- ★校務のDX化の推進
- 教職員ストレスチェックの実施
- 幸手・桜の学びセミナー等の充実
- ICT教育専門員及びICT支援員の活用
- 共同学校事務室の活用
- 教育支援員・日本語指導員・学校教育専門員、スクールサポートスタッフ等の配置
- 教職員研修会の実施
- 学校教育専門員の配置
- 人事評価教育長面接（校長対象、年3回）の実施
- 学校評価の実施と公表

◆学校施設及び教育環境の整備推進

- ★校舎増築工事・既存公社大規模工事の実施（東中）
- ★体育館の空調整備工事の実施（長倉小、幸手中）
- ★校舎LED工事の実施（長倉小、上高野小）
- ★東小中学校の開校と上高野小学校とさかえ小学校の統合に向けた確実な準備

★大型掲示装置の増設

- 学校施設の管理
- 学校施設の巡回や修繕
- GIGA と校務を統合した教員 1 人 1 台端末の運用
- 学習支援ソフト（ミライシード）の運用
- ICT 教育環境の整備（デジタル教科書）

◆安全・安心な学校給食の運営と食育の推進

★学校給食費無償化の実施

★アレルギー等により給食を喫食できない児童・生徒への補助の実施

- 食物アレルギー対応マニュアルの活用と徹底
- 市政施行 40 周年を記念した給食の実施
- 学校給食調理コンクールへの参加
- 季節・行事食や郷土食による給食を通じた食育の推進
- 「だしで味わう和食の日」への参加を通じた食育
- 学校給食運営委員会及び献立会議の開催

◆ 社会教育分野

【基本目標2】青少年の健全な育成



◆ 施策 ★ 新規・拡充事業 ○ 実施予定事業

令和8年度 の 具体的重点施策 と 主な取組

◆ 青少年健全育成事業の推進と充実

- 各種子ども事業の推進
- 青少年育成推進員活動の充実
- 二十歳を祝う会の開催
- 青少年問題協議会の開催
- 青少年関係団体活動の支援

【基本目標3】社会教育の充実



◆施策 ★新規・拡充事業 ○実施予定事業

令和8年度 の 具体的重点施策 と 主な取組

◆市民との協働による社会教育活動の推進

- ★ランチタイムコンサートの開催
- 文化祭の開催
- ステーションギャラリーを活用した文化活動の支援
- 社会教育団体及び文化活動団体活動の支援
- さって市民生きがい教授登録者の活用

◆公民館活動の充実

- ★公民館照明 LED 化工事の実施
- 公民館クラブ活動の推進
- 公民館講座の推進（スマートフォン講座等）
- いきいきセミナーの実施
- 施設整備の修繕と適切な維持管理
- 小・中学校との連携

◆読書活動の推進と図書館運営の充実

- ★電子図書の導入
- 指定管理者制度による図書館の管理運営
- ブックスタート、セカンドブックスタート、読書通帳配布による読書活動の推進
- 子ども読書活動推進計画の実施
- 施設設備の修繕と適切な維持管理
- 小・中学校との連携

◆市民との協働によるスポーツ・レクリエーション活動の推進

- ★宝くじスポーツフェア ドリーム・バレーボールの実施
- ★部活動地域展開の推進
- 市民スポーツ大会の開催
- さくらマラソン大会の開催
- スポーツ教室等の実施
- 全国大会等に出場する選手等への活動支援
- 各種スポーツ・レクリエーション団体への活動支援
- スポーツ推進委員活動の支援

◆体育施設の利用促進と管理運営の充実

- ★総合公園テニスコート照明設備 LED 化工事の実施
- 市民文化体育館非常用発電設備更新工事の実施
- 指定管理者制度による体育施設の管理運営
- 学校体育施設開放事業の円滑な運営
- 施設設備の修繕と適切な維持管理

◆人権教育・啓発活動の充実

- 人権教育研修会の開催
- 人権課題の理解啓発
- 人権作文発表会の開催
- 人権啓発品の配布
- 視聴覚資料等の充実
- 人権教育実践報告会等への参加

【基本目標4】歴史・伝統文化の継承と活用



◆施策 ★新規・拡充事業 ○実施予定事業

令和8年度 の 具体的重点施策 と 主な取組

◆文化財の保護・活用と歴史文化の継承

- 学校囲碁指導の実施
- 伝統的な行事や文化の継承
- 本因坊ゆかりの囲碁文化のPR（ねんりんピック彩の国さいたま 2026 開催時等）
- 文化財の保護と調査・研究
- 旧吉田中学校木造校舎の保護・活用
- 市指定無形文化財の後継者育成
- 文化財の情報発信
- 市内で受け継がれている民俗行事や伝統文化の調査研究

◆郷土資料館の活用と充実

- 企画展・特別展の充実
- 収蔵資料調査事業の実施
- ものづくり体験学習等の実施
- 歴史展示室・民具資料展示室の展示の充実
- 歴史的資料等の調査・研究・保存・活用
- 施設設備の修繕と適切な維持管理
- 小・中学校との連携

教 育 施 設



学校名	幸手小学校	児童数・学級数	247人・13学級
所在地	幸手市中3丁目 11番41号	教職員数	28人
校長	川島 正晴	創立記念日	明治5年2月1日
教頭	新井 宏美	開校記念日	2月1日

(1) 本校の特色

◇校是『徳智修開』の志を受け継ぐ

『徳智修開』と刻まれ、玄関ホールに掲げられた額の文字は、将軍や明治天皇の侍読を務め、のちに大学大鑑となった秋月種樹氏により、明治11年9月に揮毫されたものです。この言葉は、「学制」の「前文」として知られる「学事奨励に関する被仰出書」からとられたのではないかと考えられ、学問の府としての夢、願いや想い、期待等が込められています。

明治5年2月開校以来、地域住民の願いや期待が『徳智修開』と重なり、素直な心で知識を修めて深い学びを求める姿は、150年以上も受け継がれてきました。

◇校訓「真面目」(清潔・整頓・規律・親切・礼儀)

大正10年9月、第14代校長の坂倉太治氏が「校訓」を制定したと『学校沿革誌』に記録が残されています。大正自由教育の影響下で規律を重んじたことの意味を鑑み、今日的課題として「真面目」を大切にしたい教育を進めています。

◇幸手小での綴り方教育とその今日的意義

第16代校長を務めた千野幸三郎氏は、第17代校長を務めた黒田金五郎氏とともに、国語教育の大家である芦田恵之助に影響を受け、大正自由教育(大正新教育)のなかで綴り方教育を本校に根付かせました。昭和14年には中央公論社の募集した児童の綴り方に応募し、島崎藤村や川端康成等が審査した中で尋常2年の児童が入選を果たし、表彰されました。表彰状が今日も残されています。

大正自由教育及び戦後の新教育において先導的役割を果たした幸手小の伝統を受け継ぎ、155周年を迎える令和8年度も、「150年続く伝統を受け継ぎ、21世紀の教育を切り開く」をテーマに掲げ、「令和の日本型学校教育」の実現を目指し「GIGAスクール構想の実現」と「学習指導要領の一層の定着」、「働き方改革」と「教育振興基本計画の理念(自立・協働・創造)の継承」を同時に追求する授業改革、学校改革の実現に邁進します。

(2) 教育目標

「自ら学び続ける子」

○よく考えやりとげる子 ○仲よく助け合える子 ○健康でたくましい子

【目指す学校像】「共創・響創」

～自立した学び肉声と温かな居場所のある学校づくり～

(3) 今年度の研究テーマ

「自ら学び続ける子」の育成

～主体的・対話的で深い学びを実現する授業改善～



学習方略を学ぶ様子



協働的な学びの様子



日常的に ICT 機器を使用している様子



学校名	権現堂川小学校	児童数・学級数	46人・7学級
所在地	幸手市大字神明内 570番地	教職員数	16人
校長	三ヶ尻 陽子	創立記念日	明治6年5月
教頭	田村 紀子	開校記念日	11月2日

(1)本校の特色

本校は、開校153年目を数える歴史と伝統ある学校です。素直で前向きな児童が多く、休み時間は校庭で元気に遊んでいます。本校のシンボルツリー・^{さいかち}白菫の花言葉は「壮大」です。小規模校であることを生かし、学年を超えた活気あふれる教育活動を行っています。

本校の大きな特色は、地域の方々の支援や協力を得ながら実施する体験学習です。学校応援団の方々を中心とした、まこもの馬作り、ケナフの栽培、権小ファームの野菜作り、稲作体験、校地内環境整備活動等を通して、児童は教科等横断的に学習することができます。さらに、登下校時の防犯パトロールボランティアの皆様による安全見守り、地域の皆様とつくりあげる「みんなの運動会」も、地域・家庭・学校のつながりを深め、児童の権小愛を育んでいます。

学校・家庭・地域が、子供の可能性を最大限伸ばすために「共創」する学校の実現のため、「チーム権小」として、一層充実した教育活動を展開していきます。

(2)教育目標

「自分から行動できる子」

・すすんで学ぶ子 ・たすけ合う子 ・きたえる子

(3)今年度の研究テーマ

「自ら学び、考え、表現できる児童の育成」



全校遠足



みんなの運動会



まこもの馬作り



学校名	上高野小学校	児童数・学級数	283人・16学級
所在地	幸手市大字上高野 1009番地	教職員数	28人
校長	堀越 成夫	創立記念日	明治6年10月
教頭	石塚 吉幸	開校記念日	11月2日

(1)本校の特色

本校は、幸手市の西部に位置し、学区内を東武鉄道日光線と国道4号線、圏央道が通っています。学校近くには、ホームセンターや映画館、集合店舗の商業施設があります。また、校歌にも歌われている琵琶溜井跡や日光街道と御成街道との合流点もあり、幸手の歴史を感じることができる地域です。

令和8年度は、開校153年を数える歴史と伝統を継承しつつ、『挑戦と創造』をスローガンに「一人一人が生きる(①子どもが生きる:主体的に考え、よりよく実践できる「自立」の育成、②教職員が生きる:教育への情熱と使命感をもち、子どもの成長を心から喜び、誇れる教育の実践、③家庭・地域が生きる:家庭や地域の信頼に応え、タカラである子どもの育成)、活力のある学校を創造していきます。

【目指す児童像】「自信と誇りをもつ児童」

【目指す教師像】「情熱と使命感をもって接する教師」

【目指す授業像】～「わかる」授業で「できる」自信と「考える」楽しさを～

(2)教育目標

「挑戦し続ける子」

「よく考える子 思いやりのある子 元気な子」

(3)今年度の研究テーマ

自ら課題解決に取り組む児童を育成するための、学び合い高め合う授業の工夫
～言葉にこだわり、言葉を大切にした学びの充実を通して～



自転車免許講習会



琵琶溜井の見学



消防署見学



学校名	吉田小学校	児童数・学級数	52人・7学級
所在地	幸手市大字惣新田 3159番地	教職員数	15人
校長	関根 渉	創立記念日	昭和59年4月
教頭	中村 太一	開校記念日	11月25日

(1) 本校の特色

本校は、昭和59年に吉田第一小学校と吉田第二小学校が合併して現在の地に開校し、本年度、閉校を迎える、児童数52名の小さな学校です。学区は、東に江戸川、西に中川が流れ、南北に約6km、東西に約3kmあり、とても広がっています。

本校では、目指す学校像を「吉田地区の未来を担う子どもを育てる学校～最後はみんな笑顔で！！～」とし、

- ① 伝承を継承しつつ、次につながる新たな取組に挑戦する学校
- ② 子供も教師も課題を発見し、真剣に向き合い、解決することができる学校
- ③ 子供も教師も学校に来ることが楽しみな学校
- ④ 子供たちが伸び伸びと生活できる安心・安全な学校
- ⑤ 子供たちがお互いを尊重しあうことのできる学校
- ⑥ 学校・家庭・地域が協働し、共に歩む学校

を目指しています。教職員は、「教育のプロ」として、伝統を継承しながらも、時代に即応した新たな教育の創造を目指し、英知を結集して、かけがえのない子供たち、地域の方々が笑顔で閉校を迎えられるよう、全力を尽くして子供たちの教育に邁進します。

(2) 教育目標

みんなと仲良くする子 こつこつ勉強する子 しっかり運動する子

(3) 今年度の研究テーマ

研究主題 「思考力・判断力・表現力を高めるための指導方法の工夫」
～PBLの確立を目指して～



飯ごう炊飯体験



田植え体験



防災学習イベント



学校名	八代小学校	児童数・学級数	43人・7学級
所在地	幸手市平須賀1丁目 14番地	教職員数	15人
校長	坂庭 正浩	創立記念日	昭和29年9月28日
教頭	秋葉 光義	開校記念日	9月28日

(1)本校の特色

開校152年（移転後73年）を迎え、本校は、めざす学校像を『地域に信頼され、笑顔・活気・自信・誇りがあふれる学校 ～「真剣・集中」の姿と未来を切り拓く創造力の育成～』として、変化の激しいこれからの時代を、知・徳・体の調和を図りつつ、問題解決に向けて豊かな想像力を発揮する「生きる力」を育て、集団生活の中で切磋琢磨して心身を鍛錬し、心豊かでたくましい人間として自立できる力の育成を目指しています。

地域に培ったコミュニティスクールとして、学校と家庭と地域とが一体となり、『八代の子ども達は八代で育てる』活動を展開しています。本年度で閉校となりますが、最後の1年を通して子供たちに『感謝・チャレンジ』という気持ちをもたせつつ教育活動を行っております。

① 学力向上のためのチャレンジ

- 「真剣・集中」の姿づくりの推進
- 一人一人を確実に伸ばす教育の推進

② 心を育てるためのチャレンジ

- 道徳的実践の充実
- 体験活動等を生かした多様な取組
- いじめの防止・根絶、人権教育の推進
- 積極的な生徒指導

③ 健康へのチャレンジ

- 一人一人を伸ばす体育授業、運動の日常化
- 健康や食生活の大切さを推進
- 安全教育の充実

(2)教育目標

自ら進んで学ぶ子 心豊かで思いやりのある子 ねばり強く健康な子

(3)今年度の研究テーマ

学びの楽しさを味わいながら自分の考えを豊かに表現できる児童の育成
～国語科における言語能力（語彙力・読解力・書く力）の育成を目指して～



全員遠足



総合的な学習の時間
(八代小を知ろう)のプレゼンテーション



田植え体験



学校名	行幸小学校	児童数・学級数	245人・13学級
所在地	幸手市大字円藤内 460番地2	教職員数	25人
校長	栗城 敦志	創立記念日	明治6年4月6日
教頭	佐久間 賢一郎	開校記念日	4月15日

(1) 本校の特色

今年度、創立153年目となる本校は、242名の児童が保護者や地域の皆様の温かい支援をいただきながら、日々の学習に取り組んでいます。今年度は、「子ども一人一人のよさを認め伸ばす教育」の実施に向け、「夢や目標に向かって自分のために仲間のために進んで考動する子」を目指す児童像に掲げ、児童・教職員・保護者・地域の皆さんが笑顔いっぱい 학교を目指し、オール行幸小学校で進んでまいります。

教育活動全般においては、令和5年度に「全国健康づくり推進学校優秀校」の表彰をいただいた実践を踏まえ、食育・保健指導・安全教育・道徳・特別活動等の更なる推進を図るとともに、児童が自らの成長を実感できるような教育活動を展開してまいります。

また、児童が自ら気づいたり発見したりする中で学ぶことの面白さを感じることができるよう、体験的な活動や外部（地域）人財等を活用した学習を展開するとともに、仲間とともに活動する楽しさや喜びを感じることができるよう、学級や学年・縦割り活動等を計画的に実施し、学びを広げ、深めていきます。

(2) 教育目標

○自ら学ぶ子 ○明るくやさしい子 ○元気にやりぬく子

○目指す学校像 「笑顔あふれる 楽しい学校」

○目指す児童像 「夢や目標に向かって 自分のために仲間のために 進んで考動する子」

(3) 今年度の研究テーマ

『読解力を身に付け、考えを深める児童の育成』

～国語科の授業づくり等を通して～



「みゆきっコイ」
行幸小マスコットキャラクター
(150周年記念にて制作)



「交通安全教室」
1年生 横断歩道の渡り方



「総合的な学習の時間」
4年生 車椅子体験



学校名	長倉小学校	児童数・学級数	393人・18学級
所在地	幸手市大字 下川崎242	教職員数	34人
校長	井上 弘江	創立記念日	昭和50年4月1日
教頭	梅田 大也	開校記念日	11月2日

(1)本校の特色

本校の特色の1つとして、活発な「異学年交流」が挙げられます。主な活動として「たてわり班」での遊びや話し合い、低学年と高学年による体力テストやなわとび大会などでのペア活動があります。どの活動においても、高学年の子供たちは、低学年の目線に立って考え企画しています。

もう1つの特色として、「オープスタディ」があります。全学年が算数での自分の苦手な分野を確認し、各ブースに分かれ問題にチャレンジします。各ブースではそれぞれの先生が基礎問題から応用問題まで、子どもたちがスモールステップで進めるよう工夫を凝らした問題を用意して待っています。自分のチャレンジが終わった子どもたちは、校長室に行き、校長先生からの特別問題にチャレンジです。子どもたち一人一人が楽しみながら自分のペースで苦手を克服する良い機会となっています。

今年度も、生き生きと子供たちが活動していけるよう保護者や地域の方と連携して教育活動を進めてまいります。

(2)教育目標

学校教育目標 「たくましく 生きる」 「進んで勉強する子」
「心豊かで思いやりのある子」「健康で粘り強い子」

目指す学校像 ～幸せをつくる人になろう Happinessクリエイター～

「規律ある学校」「あいさつの声が響く学校」「ぬくもりのある学校」

- ・子どもの幸せをつくる学校
- ・保護者が通わせてよかったと思う学校
- ・地域の誇りとなる学校

(3)今年度の研究テーマ

主体的に運動に親しむ児童の育成 ～ 未来を生きる心と体を創ろう ～



オープスタディ



はつらつタイム
- 25 -



音楽朝会



学校名	さかえ小学校	児童数・学級数	68人・8学級
所在地	幸手市栄2番 90号	教職員数	19人
校長	坂本 信之	創立記念日	平成15年4月1日
教頭	中根 政之	開校記念日	6月15日

(1) 本校の特色

本校は、旧栄第一小学校と旧栄第二小学校が統合され、今年度24年目となる学校です。めざす学校像は、「夢を育み 夢をかなえ 夢を広げる さかえ小」です。新しい時代を切り拓く、生きる力と心豊かでたくましい人間力をもつ児童を育てるために、全教職員が一丸となって教育活動に取り組んでいます。

本年度は、幸手市教育委員会・幸手市教育研究会より委嘱されている「体力向上に関する研究」において、「明日を健やかに生きるための体と心づくり」の研究をしています。また、文部科学省より委嘱されている「生成AIパイロット校」指定校として、ICTを活用した効果的な指導について研究をしています。更に、本物に触れる体験活動を積極的に行ったり、青少年赤十字活動(JRC)、ボランティアの活動を充実させ学びを深めたりして、主体的に生きる力を伸ばしていきます。

本校にはシンボルの木「大王松」があり、その松葉が三本あることから「三鈷松(さんこしょう)」と呼んでいます。学校だよりの名前もこれに由来しています。

(2) 教育目標

「思いやりのある子」 「かしこい子」 「たくましい子」

(3) 今年度の研究テーマ

明日を健やかに生きるための体と心づくり
～体育と道徳の授業を柱として～



ICTを活用した研究授業



ちょっとボランティア活動(JRC)



ヒラメ命の授業



バケツ稲体験



シンボルの木
「三鈷松」



学校名	さくら小学校	児童数・学級数	368人・16学級
所在地	幸手市大字幸手 72番地	教職員数	28人
校長	市川 史朗	創立年月日	平成17年4月1日
教頭	石井 裕太	開校記念日	6月6日

(1)本校の特色

本校は、今年度で開校22年目を迎えました。校訓（合い言葉）「全力」のもと、さくら小の伝統・文化を継承しながらも子供たちにとってよりよいものは取り入れ、チャレンジしていくことを大切にしています。

「学校は学ぶところ 学校は安全なところ 学校は夢を育むところ」という教育理念と行動指針「児童から信頼される教師・保護者から信頼される教育・地域から信頼される学校」に基づき、「笑顔あふれるさくら小」を目指し、児童に力をつける教育活動を推進します。

令和8年度から算数科を課題研究とし、算数での実践を通じて指導技術の共通理解を図り、その成果を他教科へ波及させていくことを目指します。特に、授業の導入における「問題・課題を知る」過程を重点とし、児童の実態に即した適切な課題の提示や追究する価値のある課題設定を行うことで、児童の興味・関心を高め、主体的な学びを引き出す指導法を研究していきます。また、本校は、近隣に公共施設が多く、自然にも恵まれています。保護者はもちろん、地域を生かした体験活動を通し、故郷に親しみ、誇りをもたせることも目指しています。

(2)教育目標

◎「ふるさと幸手を愛し、志に生きる(児童の育成)」

- かしこい子 【知】人の話をしっかり聞ける子 進んで学習する子 自分の考えをもち表現できる子
- 心豊かな子 【徳】相手の気持ちがわかる子 みんなのために働くことができる子 誰とでも話ができる子 自分のいいところ、相手のいいところに気づける子
- たくましい子 【体】進んで運動する子 気もちのよいあいさつができる子 バランスのよい食事ができる子

(3)今年度の研究テーマ

研究課題 「主体的に学習に取り組む児童の育成」

～算数を中心とした『幸手スタンダード授業5』に基づいた日常的な授業改善を通して～

研究教科 算数科



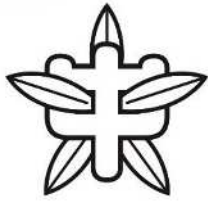
算数の授業風景



とうもろこしの皮むき体験



キッズフェスで活躍する6年生



学校名	幸手中学校	生徒数・学級数	389人・15学級
所在地	幸手市北1丁目 7番4号	教職員数	37人
校長	酒井 一好	創立記念日	昭和22年4月11日
教頭	渡辺 源	開校記念日	11月1日

(1) 本校の特色

本校は創立以来、校是『全力は美なり』を教育活動の基盤とし、学校教育目標「学び続ける生徒」「心豊かな生徒」「活力ある生徒」の具現化を目指し、保護者や地域の皆様の御支援と御協力をいただきながら日々の教育活動を推進しています。目指す学校像として「自ら課題を設定でき、その解決に向かって考え行動する生徒が育つ学校ー自己実現・協働・社会貢献できる生徒の育成ー」を掲げています。

学習活動では、主体性・自主性をはぐくむ教育活動の展開、学習指導方法の改善、探究学習の研究と活用を進め、学力向上を目指します。また道徳教育に重点を置き、「考え、議論する道徳」への質的転換を進めるほか、生成AIパイロット校事業の一環として全国に授業の様子を発信するなど、学校内外に生徒の活躍の場を広げています。本年度も体験的な活動の場として「スキー教室・校外学習・修学旅行・JRC活動（青少年赤十字）」等を予定しています。

(2) 教育目標

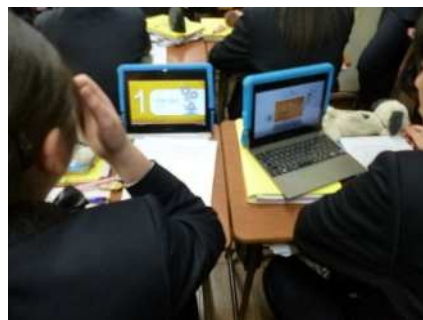
- 学び続ける生徒 ○ 心豊かな生徒 ○ 活力ある生徒

(3) 今年度の研究テーマ

「自ら考え選択し、豊かな人生を切り拓く生徒の育成」



体育祭 ミニ駅伝



生成AIを活用した学習



合唱祭



道徳科の授業



学校名	東中学校	生徒数・学級数	77人・5学級
所在地	幸手市大字平須賀 2912番地3	教職員数	18人
校長	竹内 徳望	創立記念日	昭和53年4月1日
教頭	高屋 昌幸	開校記念日	6月5日

(1)本校の特色

本校は、生徒数77名、5学級の小規模校です。校舎から望む秀麗な富士山や筑波山の穏やかな山容が見渡せる田園に囲まれた緑豊かな地域にあります。通学区域は広範囲におよび、全生徒が自転車通学をしています。近年、学校周辺の開発に伴う交通量の増加により、交通安全指導には特に力を入れています。

教育の根幹である学力向上への取組として、①各種学力・学習状況調査の分析結果を踏まえた授業改善、②一人一台の端末を活用した主体的な学習の推進、③家庭学習の充実、④数学における少人数指導など、少人数の強みを生かした学習支援を充実させています。

また、令和6年度から文部科学省の指定を受け、「授業時数特例校」として、教科等ごとの授業時数の配分を変更し、特別の教育課程を編成・実施しています。昨年度は、成人年齢が18歳に引き下げられたこと等を踏まえた消費者に関する教育の充実と、変化の激しい時代を生き抜くために必須ともいえる情報活用能力の育成を図りました。

今後も、学校・家庭・地域の「絆」を深め、皆が「笑顔」になれる学校づくりを目指してまいります。

(2)教育目標

瑞々しい知性（確かな学力）

- ・ 生きて働く「知識」「技能」を身に付けた生徒
- ・ 自ら課題を見つけ、主体的に学び、判断し、行動できる生徒
- ・ 困難を乗り越え、粘り強く努力できる生徒

美しい友情（豊かな心）

- ・ 他者への思いやりの心を持ち、他者と協調・協力できる生徒
- ・ ならぬものはならぬと自らを律することができる生徒
- ・ 感動する心をもつ生徒

逞しい体（健やかな体）

- ・ 自他ともに、命や安全を重んじた行動のとれる生徒
- ・ 健康維持や体力向上に努める生徒

(3)今年度の研究テーマ

【研究主題】 「さまざまな教育活動からの支援による学力の向上」



1人1台の端末を
活用した授業



「笑顔」と「絆」の体育祭



音楽発表会における
全校合唱「ふるさと」



学校名	西中学校	生徒数・学級数	519人・17学級
所在地	幸手市大字下川崎 387番地	教職員数	37人
校長	島方 勝弘	創立記念日	昭和53年4月1日
教頭	小池 健太郎	開校記念日	11月2日

(1) 本校の特色

本校は、幸手中学校から分離してから今年度で創立49年目を迎えます。開校した年の秋に、校旗の完成を記念して、11月2日を開校記念日としました。令和8年度は1年生158名、2年生161名、3年生200名、17学級519名（5月1日現在）となっています。

校歌にある「アーム ラボール エスペール」と繰り返される言葉は、「愛せ、働け、望め」という意味の国際補助語としての「エスペラント語」で、人類永遠の励ましの言葉です。社会評論家として活躍した幸手市にゆかりのある作詞者、安積得也氏が込めた思いを胸に校歌を歌っています。

また、昨年度より文部科学省から「生成AIパイロット校」に指定され、生徒の情報活用能力やその一部として生成AIの仕組みの理解や生成AIを学びに活かす力を段階的に高めていく能力の育成を図りつつ、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実や生成AIの校務利用や教育利用を行う研究を推進しています。

(2) 教育目標

「自己実現を目指し、心豊かな人」

- 自ら学ぶ生徒
- 思いやりのある生徒
- 心身を鍛える生徒

(3) 今年度の研究テーマ

「主体的・対話的で深い学びの充実

～授業のねらいの明確化・家庭学習の推進・ICTの活用・

授業のふりかえり指導の改善～」

研究の重点

- ①教科部会による、教科の目標の設定と検証・校内研修の取組と検証
- ②非認知能力部会による、学級・学年経営の実践と検証、家庭との連携の充実
- ③各種テスト研究部会による、学力テスト等の分析とまとめ



充実した学びの環境



LDX 研究発表会



令和7年度卒業証書授与式

教育支援センター

心すこやか支援室

所在地 幸手市東3丁目12番25号

電話 (42)0356 FAX (42)0356

開設 平成28年4月1日



1. 施設

(1) 敷地面積 907 m²

(2) 延床面積 304 m²

(3) 施設概要

職員室、学習室、相談室、プレイルーム等

2. 事業

何らかの理由で登校できないでいる児童生徒のために、社会的自立を目指した学習や生活のリズムづくりの支援、教育相談を行っています。



幸手市中央公民館

(幸手市勤労青少年ホーム・
幸手中央地区市民センター併設)

所在地 幸手市緑台2丁目1番7号

電話 (42)5156 FAX (42)5800

開設 昭和48年7月1日



1. 施設

(1) 敷地面積 3,049 m²

(2) 延床面積 1,469 m²

(3) 施設概要

1階 (中央公民館)

会議室2室、和室2室、視聴覚室、
講座室、クラブ室等

2階 (勤労青少年ホーム)

体育室、音楽室、集会室、料理室、
講習室、談話コーナー等

幸手市西公民館

(幸手市西農村文化センター・
幸手西地区市民センター併設)

所在地 幸手市大字千塚117番地

電話 (43)0881 FAX (43)0881

開設 昭和60年1月9日



1. 施設

(1) 敷地面積 4,510 m²

(2) 延床面積 1,017 m²

(3) 施設概要

(西公民館)

1階 会議室、クラブ室等

図書コーナー、ゲートボール場

2階 講座室2室、視聴覚室等

(西農村文化センター)

1階 和室2室、大会議室、

料理講習室等

幸手市北公民館

(幸手北地区市民センター併設)

所在地 幸手市大字内国府間867番地

電話 (42)6221 FAX (42)6221

開設 昭和62年5月1日



1. 施設

(1) 敷地面積 5,590 m²

(2) 延床面積 1,189 m²

(3) 施設概要

レクリエーションホール (舞台併設)

・402名収容可能。

可動式の座席を収納してフロア、
ホールとして利用可。

会議室、講座室、音楽室、和室2室

図書コーナー等

幸手市南公民館

(幸手南地区市民センター併設)

所在地 幸手市大字上高野 1 1 9 4 番地

電話 (43)6053 FAX (43)6053

開設 昭和 63 年 6 月 1 日



1. 施設

(1) 敷地面積 5,056 ㎡

(2) 延床面積 1,354 ㎡

(3) 施設概要

1階

児童室、会議室、講座室、体育室

(バレーボール1面またはバドミントン
2面使用可)、図書コーナー等

2階

和室、料理実習室、クラブ室

美術工芸室等

幸手市東公民館

(幸手東地区市民センター併設)

所在地 幸手市大字下宇和田 5 8 番地 6

電話 (48)0013 FAX (48)0013

開設 平成 3 年 5 月 27 日



1. 施設

(1) 敷地面積 7,298 ㎡

(2) 延床面積 1,248 ㎡

(3) 施設概要

集会室 (150人収容可能)

準備室、会議室、講座室、

料理実習室、和室 2 室、

図書コーナー等

幸手市立図書館

所在地 幸手市緑台 2 丁目 5 番 2 5 号

電話 (42)0169 FAX (44)0536

開設 昭和 57 年 7 月 1 日



1. 施設

(1) 敷地面積 4,392 ㎡

(2) 延床面積 1,460 ㎡

(3) 施設概要

一般書、児童書コーナー、学習室

(蔵書数 151,622 冊【R8.3.31 現在】)

2. 事業

図書の貸し出しや閲覧に加え、講座やブックスタート事業、セカンドブックスタート事業や乳幼児・児童を対象とした「お話し会」などを実施しています。

幸手市立図書館香日向分館

所在地 幸手市香日向4丁目5番1号

電話 (42)8877 FAX(42)8877

開設 平成27年2月12日



1. 施設

旧香日向小学校の1階部分を利用し、平成27年2月に開館しました。

(1) 延床面積 557㎡

(2) 施設概要

一般書、児童書コーナー、学習室、談話室

(蔵書数 24,839冊【R8.3.31現在】)

2. 事業

カフェラウンジでコーヒーを飲みながら読書を楽しめるほか、談話室や学習室を設け、地域の憩いの場として活用されています。

幸手市郷土資料館

所在地 幸手市大字下宇和田58番地4

電話 (47)2521 FAX (47)2521

開設 平成30年10月23日



1. 施設

(1) 敷地面積 5,065㎡

(2) 延床面積 2,205㎡

(3) 施設概要

歴史展示室、民具資料展示室、資料収蔵室

2. 事業

郷土についての歴史、考古及び民俗に関する資料等の収集、保存、調査及び研究を行うとともに、その活用を図り、市民の歴史及び文化に対する理解を深め、郷土文化の振興に資するため、資料の展示公開のほか、講座や体験学習等を実施しています。

幸手市民文化体育館

所在地 幸手市大字平須賀2380番地1

電話 (48)0048 FAX (48)2828

開設 平成7年1月5日



1. 施設

(1) 敷地面積 26,865.04㎡

(2) 延床面積 10,521.39㎡

(3) 施設概要

① メインアリーナ 2,050㎡

② さくらホール 1,070㎡

(舞台 15m×35.8m 観客席 1,199席)

2. 事業

市民レベルの各種大会のほか、全国規模の大会も開かれるスポーツ施設のメインアリーナとコンサートやミュージカル、文化祭など文化活動の舞台となるさくらホール等からなる複合施設として利用されています。

幸手市立武道館

所在地 幸手市大字幸手1957番地1
電話 (43)0190 FAX (43)0190
開設 昭和59年4月1日(武道館)
平成3年5月11日(弓道場)



1. 施設

- (1) 敷地面積 1,920 m²
- (2) 施設概要
 - ① 柔道場 1F 707 m² 2面
 - ② 剣道場 2F 616 m² 2面
 - ③ 弓道場 272 m² 6人立

2. 事業

柔道・剣道・空手道・弓道の市民スポーツ大会や中学校体育連盟の大会等が開催されています。

幸手市B&G海洋センター

所在地 幸手市大字木立1779番地3
電話 (48)0220 FAX (48)5178
開設 昭和57年4月1日



1. 施設

- (1) 敷地面積 9,003 m²
- (2) 建物面積 1,102 m²
- (3) 施設概要
 - ①アリーナ バレーボールコート 2面
バドミントンコート 3面
 - ②ミーティングルーム

2. 事業

バレーボール・卓球・インディアカ・ミニテニスの大会等が開催されています。

幸手総合公園

(陸上グラウンド・庭球場)

所在地 幸手市大字木立1779番地1
開設 昭和62年4月1日



(陸上グラウンド)

- (1) 敷地面積 24,000 m²
- (2) 施設概要
 - ① 陸上グラウンド
トラック 一周 400m 7レーン
直線 100m 8レーン
 - ② サッカーコート (天然芝)

(庭球場)

- (1) 敷地面積 4,500 m²
- (2) 施設概要
 - 全天候型 6面
 - (夜間照明設備 3面)

ひばりヶ丘球場

所在地 幸手市大字木立1929番地
電話 (48)2250 FAX (48)0865
開設 平成4年6月1日



1. 施設

(1) 施設概要

- ① グラウンド 11,880 m²
(両翼 92m・中堅 120m)
- ② メインスタンド(3階建) 2,177.88 m²
観客席 椅子席 1,460人
芝生席 約3,000人

2. 事業

硬式・軟式野球や少年野球の大会等の他、軟式・少年野球審判講習会が開催されています。
その他、一般の野球愛好者にもナイター等で利用されています。

神扇グラウンド

所在地 幸手市大字神扇273番地
開設 平成13年4月15日



1. 施設

- (1) 敷地面積 19,370 m²
- (2) 施設概要
 - ① 野球グラウンド 2面
 - ② その他多目的利用

2. 事業

ソフトボールの市民スポーツ大会や、少年野球大会等が開催されています。

幸手市少年サッカー場

所在地 幸手市大字神明内184番地
開設 昭和62年4月1日



1. 施設

- (1) 敷地面積 8,112 m²
- (2) 施設概要

- ① サッカー場 1面
- ② 管理棟 1棟

2. 事業

幸手市スポーツ少年団のサッカー大会等が開催されています。

資 料 編

◆ 幸手市の歴史

現在の幸手市の大半は沖積低地だが、縄文時代には奥東京湾がここまで入り込んでいた。東端の槇野地地区だけは下総台地の上に立地しているため、縄文時代からの集落や貝塚が確認されている。弥生時代になると海岸線は現在とほぼ同じ所まで後退し、今の市街地あたりにも集落ができ始めたと考えられる。

中世前半には市域は下河辺荘に属した。後半には古河公方の家臣一色氏が支配したとみられ、幸手駅周辺に幸手城が築かれた。なお、一色氏は鎌倉の荏柄天神社を信仰し、そのため市域には一色五天神が残る。

江戸時代、徳川氏の関東入国以降、江戸に幕府を開くと一色氏は領地替えとなり、市域のほとんどが幕府の直轄地（天領）となったが、東部地域の村々は関宿藩領だった。関宿城に近い花島、槇野地、関宿向河岸、関宿向下河岸は、永く関宿藩領であったが、元禄検地以後、多くの旗本が市域に領地を与えられた。また、当時の幸手は、日光道中の宿場町・幸手宿で、日光御成道が上高野村で合流、さらには宿内で日光御廻り道（今の妙観横町）、外国府間村で筑波道が分岐するという陸上交通の拠点として大いに栄えた。

一方、江戸幕府が進めた「利根川東遷事業」で、関東郡代伊奈氏による河川の改修や開削工事の結果、赤堀川・江戸川・権現堂川・逆川が整備され治水が安定するとともに、北側・中郷・南側の幸手領三用水や葛西用水など用排水路が整備されていった。結果、多くの新田が開発され、惣新田や神扇などの新田村落が生まれ、耕地が飛躍的に増加、米を中心とする市域の産物は、江戸幕府の財政経済や江戸の町の人々の生活を支えた。また、権現堂川や江戸川、利根川を利用した船便が江戸や太平洋まで連絡していたため、市域の権現堂河岸、関宿向河岸・関宿向下河岸には物資を川船で運送する船問屋が軒を並べ活況を呈した。年貢米のほか多くの商品が川を行き交い、河岸は交通、運輸や商業、文化の拠点として幸手に活気をもたらした。

明治維新後、明治元年8月市域の村々は下総知県事の管轄となり、同2年には葛飾県が設置され、大小区が置かれ幸手宿は甲第14区となった。同4年には埼玉県へ所属が替わり第7区となり、明治7年に右馬之助町・久喜町・仲町・荒宿・牛村が合併し幸手宿となった。その後、中島・花島・槇野地・細野が同8年、関宿向河岸・関宿向下河岸が同28年にそれぞれ千葉県から埼玉県に編入された。

明治22年に町村制が施行され、幸手町が誕生した。そして、第2次世界大戦後、昭和29年、同30年及び同31年の行幸村、上高野村、吉田村、権現堂川村、八代村、桜田村（一部）、豊岡村（一部）との合併分離を経て、同61年市制を施行した。平成28年10月1日、市制施行30周年を迎えた。

◆ 幸手市の地勢・人口

1 位 置

埼玉県の北東端に位置し、茨城県・千葉県の両県に接している。

東 経 139度43分

北 緯 36度04分

海 抜 4.7m（戸島）～

15.9m（外国府間）

2 地 形

中川水系に属し、中川低地と下総台地から形成されている。

東西の長さ 8.86km

南北の長さ 7.62km

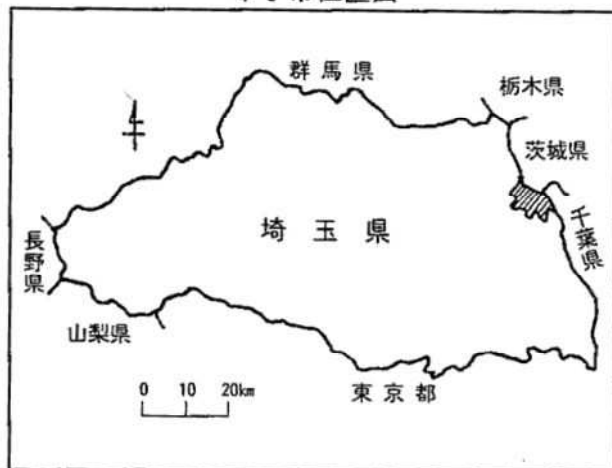
面 積 33.93km²

3 人 口 48,432人

世 帯 数 23,867世帯

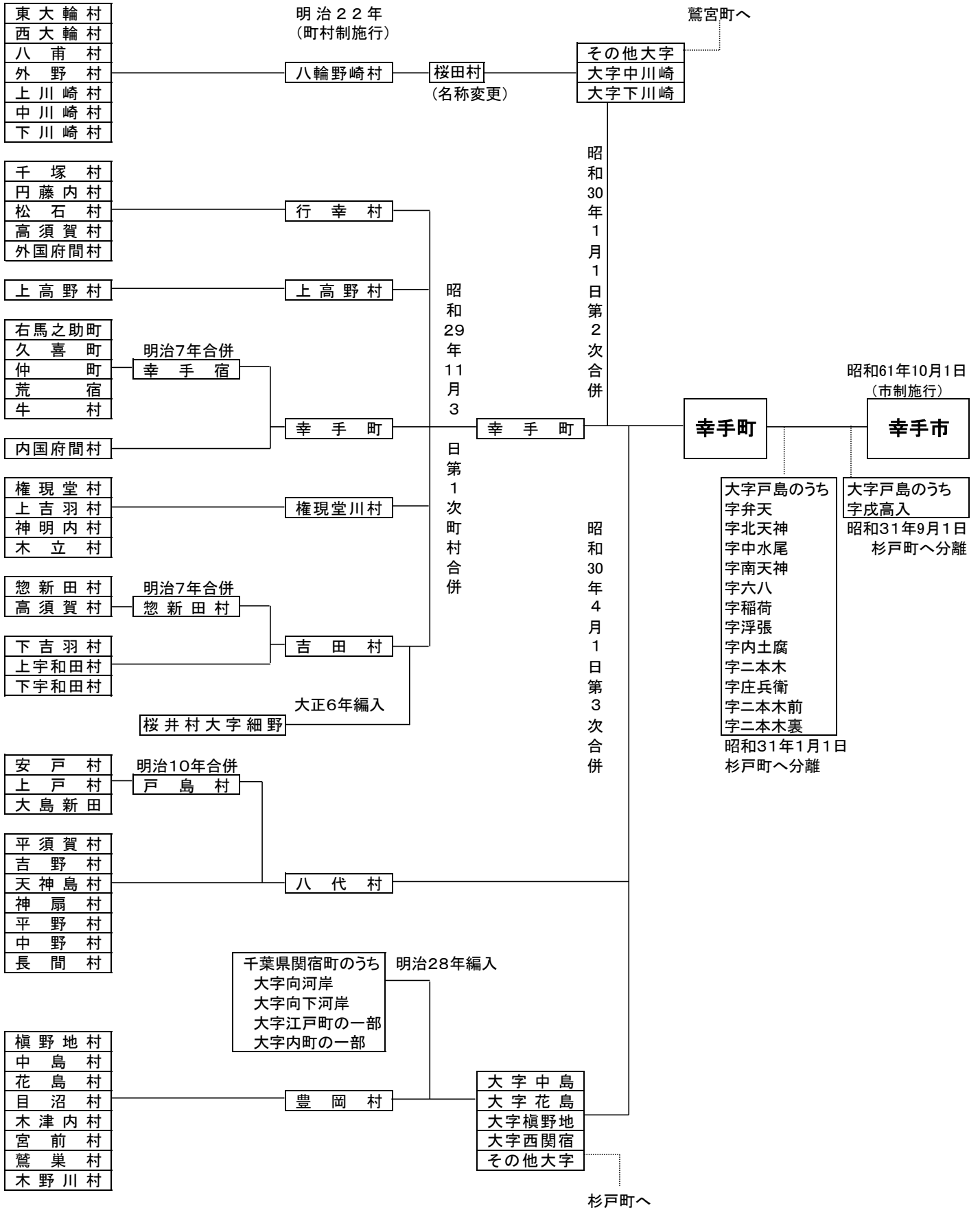
（令和8年5月1日現在）

幸手市位置図



◆ 幸手市の変遷

明治4年



◆ 幸手市教育委員会沿革

昭和 23. 7. 15	教育委員会法公布・施行 都道府県と市町村に教育委員会を設置することとなる。
24. 5. 19	教育委員会法改正、地方教育委員会設置は昭和 27 年まで延期される。
27. 10. 5	旧幸手町、上高野村、行幸村、権現堂川村、吉田村各町村において、教育委員会の選挙を実施 翌日公選委員決定
10. 21	議会選出の委員選定
11. 1	幸手町教育委員会が発足 委員定数、公選委員 4、議会選出委員 1 幸手町立幸手小学校、幸手中学校、図書館、管轄下に入る。
29. 11. 3	幸手町、上高野村、行幸村、権現堂川村、吉田村を合体合併して新たに幸手町とする 教育委員会も同時に合併される。 合併により上高野小学校、行幸小学校、権現堂川小学校、吉田第一小学校、吉田第二小学校、上高野中学校、行幸中学校、吉田中学校、権現堂川中学校、管轄下に入る。 幸手中学校他 1 ケ村立（豊岡村）中学校組合設立 組合に教育委員会を置く、委員 5 名
30. 1. 1	桜田村大字中川崎、下川崎を編入
3. 31	幸手町他 1 ケ村立中学校組合を解散
4. 1	八代村、および豊岡村大字西関宿、中島、花島、槇野地を編入 合併により、八代小学校、八代中学校、管轄下に入る
31. 6. 30	地方教育行政の組織及び運営に関する法律公布、一部施行
7. 1	幸手教科書センター開設
9. 30	教育委員会法廃止 全委員辞任
10. 1	地方教育行政の組織及び運営に関する法律施行に伴い、新たに委員を任命する
33. 3. 31	幸手中学校に吸収統合により行幸中学校廃止
35. 3. 31	幸手中学校に吸収統合により上高野中学校、権現堂川中学校廃止
38. 4. 1	幸手町社会教育委員設置 幸手町体育指導委員設置
47. 4. 1	幸手町文化財保護審議委員設置 幸手町文化財専門調査委員設置
12. 1	幸手町立栄第一小学校設置
48. 7. 1	幸手町中央公民館を新築開館（併せて県立幸手勤労青少年ホーム管理運営開始）
49. 6. 25	幸手町学区審議会設置
50. 4. 1	幸手町長倉小学校設置
6. 30	幸手町学区審議会廃止
7. 1	幸手町教育審議会設置
9. 16	幸手町就学指導委員会設置
51. 4. 1	幸手町立栄第二小学校設置 幸手町立栄中学校設置
52. 4. 1	幸手町スポーツ振興審議会設置
53. 3. 31	幸手町立吉田中学校、八代中学校、統合により廃止
4. 1	幸手町立幸手東小学校、西中学校、東中学校設置
7. 1	幸手町社会教育指導員設置

54. 3. 30	幸手町立吉田幼稚園設置
55. 4. 1	事務局に課を設置する（総務課・学校教育課・社会教育課）
56. 4. 1	幸手町運動広場設置（ソフトボールグラウンド4面・テニスコート6面）
9. 17	学校開放施設上高野小学校に夜間照明設備設置
57. 4. 1	幸手町立緑台小学校設置
4. 1	B&G 幸手海洋センター管理運営開始（体育館・プール）
5. 1	幸手町教育相談室設置
7. 1	幸手町立図書館を新築移転
7. 1	幸手町立図書館協議会設置
8. 31	学校開放施設幸手東小学校に夜間照明設備設置
59. 3. 31	吉田第一小学校、吉田第二小学校、統合により廃止
4. 1	幸手町立吉田小学校設置
4. 1	幸手町立武道館設置
59. 9. 1	吉田第二小学校舎を改装、吉田幼稚園とする
60. 1. 9	幸手町西公民館を新築開館
4. 1	幸手町立権現堂川小学校を新築移転
61. 4. 1	事務局に体育課を新設する
7. 1	上吉羽中央公園テニスコートに夜間照明設備設置
9. 30	幸手町運動公園広場廃止
10. 1	市制施行により、幸手市教育委員会となる
12. 18	市史編さん委員会設置
62. 4. 1	幸手市少年サッカー場設置
4. 1	幸手市北公民館設置
4. 1	幸手勤労者体育センター管理運営開始（多目的グラウンド・テニスコート）
63. 4. 1	幸手市南公民館設置
平成 2. 4. 1	幸手市立香日向小学校設置
3. 4. 1	幸手市東公民館設置
5. 11	幸手市立武道館に弓道場を設置
7. 1. 5	幸手市民文化体育館（アスカル幸手）を設置
9. 4. 1	県立幸手勤労青少年ホームが幸手市に移管
12. 3. 10	幸手市栄中学校プール設置
5. 28	幸手市教育審議会設置
13. 4. 15	神扇グラウンド設置
15. 3. 31	幸手市立栄第一小学校、栄第二小学校、統合により廃止
15. 4. 1	幸手市立さかえ小学校設置
17. 3. 31	幸手市立幸手東小学校、緑台小学校、統合により廃止
4. 1	幸手市立さくら小学校設置
18. 10. 10	幸手市教育審議会設置
19. 4. 1	生涯学習課と体育課が統合し、生涯学習課となる
20. 4. 1	事務局に施設管理課を新設
20. 7. 31	幸手市教育審議会設置

21. 3. 31	幸手市立栄中学校、統廃合により廃止
4. 1	事務局の施設管理課を廃止し、市民スポーツ課を新設
22. 11. 5	全小中学校の校舎・屋内運動場の耐震化工事完了
24. 3. 31	幸手市立香日向小学校、統廃合により廃止
25. 4. 1	生涯学習課と市民スポーツ課が統合し、社会教育課となる
27. 2. 12	幸手市立図書館香日向分館開館
4. 1	地方教育行政の組織及び運営に関する法律施行に伴い、委員長職が廃止となり、新教育長が任命される
10. 1	幸手市教育委員会委員定数条例により、委員の定数が4人から5人に増員される
28. 4. 1	社会教育課から体育振興担当を分離しスポーツ振興課を新設
4. 1	各公民館に地区市民センターを併設
29. 1. 19	幸手市教育審議会設置
29. 7. 1	全小中学校の教室にエアコンを整備
30. 4. 1	学校教育課が指導課となる
4. 1	社会教育課にスポーツ振興課が統合され、社会教育課となる
4. 1	中央公民館館長、南公民館館長に非常勤特別職が就任
30. 10. 23	幸手市郷土資料館開設
31. 4. 1	西公民館館長に非常勤特別職が就任
令和 2. 4. 1	中央公民館館長、西公民館館長、北公民館館長、南公民館館長、東公民館館長に会計年度任用職員が就任
2. 12. 1	全小中学校に高速大容量通信に対応した校内ネットワークを整備
3. 3. 1	全小中学校の全児童・生徒に1人1台のタブレット端末を整備
4. 1	指導課が学校教育課となる
4. 3. 31	幸手市立吉田幼稚園廃止
4. 6. 7	幸手市教育審議会設置
6. 4. 1	総務課が教育総務課となる
8. 3. 6	幸手市立上高野小学校と幸手市立東中学校の屋内運動場に空調を設置

◆ 歴代教育委員

S:昭和 H:平成 R:令和

氏名	教育長		教育長職務代理者		教育委員		教育委員長	
	就任年月日	退任年月日	就任年月日	退任年月日	就任年月日	退任年月日	就任年月日	退任年月日
今井 幹明					S31.10.1	S34.9.30	S31.10.1	S34.6.4
石井欣兵衛					S31.10.1	S34.9.30	S31.6.29	S34.9.30
篠崎 一彦					S31.10.1	S35.9.30		
対間 連					S31.10.1	S36.9.30		
広川 礼順	S31.10.1	S33.9.30			S31.10.1	S33.9.30		
殿塚 長次					S33.12.23	S34.6.4		
中村 孝作					S34.11.1	S35.9.30	S34.11.7	S35.9.30
小森谷泰二	S34.11.15	S49.12.22			S34.11.1	S49.12.22		
丸山茂一郎					S34.11.1	S38.4.25	S35.10.10	S38.4.25
新井 浩					S35.10.1	S47.9.30		
高柳 秀夫					S35.10.1	S47.9.30	S43.11.9	S46.12.17
深井 良助					S35.10.1	S38.12.2		
荒川 涉					S38.6.17	S46.10.31	S38.7.2	S43.11.7
青木 進					S39.2.1	S48.8.30		
金井 徹三					S46.11.1	S53.8.31	S46.12.28	S50.10.30
							S51.6.22	S52.4.4
岡安 延寿					S47.10.1	S51.9.30		
喜多村政蔵					S47.10.1	S51.5.7	S50.11.8	S51.5.7
川島 一桃					S48.10.1	S56.9.30		
竹村 易男	S49.12.26	S53.12.25			S49.12.26	S53.12.25		
新井耕太郎					S51.6.19	S56.3.31	S52.4.6	S53.3.31
新井 愿					S51.10.1	S59.9.30	S56.4.14	S59.9.30
飯田 豊	S54.1.11	H6.12.25			S53.12.26	H6.12.25		
滝原征一郎					S53.12.26	H5.5.21	S59.10.12	S62.10.23
高浜 彰男					S56.4.11	H20.9.30	S62.10.30	H20.9.30
白石 良三					S56.12.22	S58.11.30		
遠藤久喜雄					S59.1.26	H9.12.21		
小林 秀夫					S59.10.1	H12.9.30		
石井 澄江			H27.4.1	H27.10.31	H5.7.26	H27.10.31	H20.10.1	H24.9.30
千葉 金二	H6.12.26	H10.12.25			H6.12.26	H10.12.25		
	H11.4.1	H15.3.31			H11.4.1	H15.3.31		
石塚 順子					H9.12.22	H13.12.21		
高橋 悦一					H12.10.1	H20.9.30		
梨本 松男					H13.12.22	H27.3.31	H24.10.1	H27.3.31
柴田 幸雄	H15.4.1	H17.9.30			H15.4.1	H17.9.30		
戸田 幸男	H18.4.2	H26.4.7			H18.4.2	H26.4.7		
若林 繁					H20.10.1	H24.9.30		
新島 育郎					H20.10.1	H24.9.30		
巻島 幸男					H24.10.1	H26.10.31		
赤川 昌行			H27.11.1	H28.12.2	H24.12.3	H28.12.2		
山西 実	H26.4.8	H27.3.31			H26.4.8	H27.3.31		
	H27.4.1	H30.3.31						
	H30.4.1	R3.3.31						
	R3.4.1	R6.3.31						
	R6.4.1	R9.3.31						
深作 昭美					H26.12.1	H28.9.30		
尾島 紗緒里			H30.10.1	R2.4.30	H27.9.1	R3.9.30		
中根 政美			H28.12.3	H30.9.30	H27.10.1	H30.9.30		
前田 一郎					H27.12.1	R1.9.30		
満木 信吉					H28.10.1	R2.9.30		
齊藤 一夫					H28.12.3	R2.9.30		
会田 研司			R2.5.1		H30.10.1			

氏名	教育長		教育長職務代理者		教育委員		教育委員長	
	就任年月日	退任年月日	就任年月日	退任年月日	就任年月日	退任年月日	就任年月日	退任年月日
岩崎 万紀子					R 2. 6. 1	R 6. 5. 31		
高島 勝也					R 2. 10. 1			
藤沼 寛次					R 2. 10. 1			
古沢 万友実					R 3. 10. 1			
林 晴実					R 6. 6. 3			

◆ 附属機関等

機 関 名	職 務	所 管 課	定 数	任 期
幸手市教育審議会	教育委員会の諮問に応じて市における教育、文化に関する重要施策について調査審議し、これに答申する	教育総務課	20人以内	2年
学校医・学校歯科医・学校薬剤師	学校における保健管理に関する専門的事項に関し、技術・指導に従事する	教育総務課	37人	2年
幸手市立小・中学校再編準備委員会	幸手市立小・中学校の円滑な統廃合及び再編成に必要な準備、検討及び調整を図る	教育総務課	なし (23人)	所掌事務が完了した日まで
幸手市立小・中学校再編準備委員会専門部会	所掌事務に係る資料収集、細部についての検討を専門的に行い、その経過及び結果を委員会へ報告する	教育総務課	なし (40人)	所掌事務が完了した日まで
幸手市就学支援委員会	障害のある児童・生徒・就学予定者の発達診断、教育上必要な措置の適正化を図る	学校教育課	24人以内	1年
学校運営協議会	学校運営及び当該運営への必要な支援に関して協議する	学校教育課	各校 15人以内	1年
幸手市児童・生徒体力向上推進委員会	児童・生徒の体力向上を推進するための事業を実施する	学校教育課	16人	1年
幸手市いじめ問題対策連絡協議会	いじめ防止基本方針の策定及び推進・いじめ問題に関する施策の推進及び調整・いじめ問題の解決に関することを審議する	学校教育課	25人以内	2年
幸手市いじめ問題調査委員会	いじめの重大事態が発生したときに、教育委員会の諮問に応じて、当該重大事態に係る事実関係・教育委員会が執るべき措置等を調査審議する	学校教育課	7人以内	2年
幸手市社会教育委員	社会教育に関する諸計画の立案、教育委員会の諮問に応じ調査研究し意見を述べる	社会教育課	10人	2年
幸手市文化財保護審議会	教育委員会の諮問に応じ文化財の指定・解除・買収・出品公開・指定文化財の措置・保全、埋蔵文化財、無形文化財について建議する	社会教育課	15人以内	2年
幸手市スポーツ推進委員	スポーツの実技指導、スポーツ活動の促進・組織の育成、教育機関・団体が行うスポーツ行事・事業への協力等スポーツ振興のための指導助言をする	社会教育課	32人以内	2年
幸手市立図書館協議会	図書館長の諮問に応じ、図書館奉仕について館長に対して意見を述べる	社会教育課	10人以内	2年
幸手市公民館運営審議会	公民館長の諮問に応じ、公民館における各種事業の企画実施につき調査審議する	社会教育課	20人以内	2年
幸手市青少年問題協議会	青少年の指導・育成・保護及び矯正に関する総合的な施策の樹立について調査審議し適切な実施のために関係行政機関との連絡調整を図るとともに意見を述べる	社会教育課	20人以内	2年

◆ 学校等の概要

(1)小学校

令和8年5月1日

No.	学校名	教職員数					児童・生徒数(下段 特別支援学級)							学級数(下段 特別支援学級)						
		教員	栄養	事務	用務	給食	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計							合計
1	幸手小	27		1			41	36	35	32	45	39	228	2	2	1	1	2	2	10
							3	4	3		5	4	19							
2	権現堂川小	14	1	1			2	9	10	7	7	10	45	1	1	1	1	1	1	6
										1			1							
3	上高野小	26		2			47	39	37	42	50	51	266	2	2	2	2	2	2	12
							2	4	4	1	2	4	17							
4	吉田小	14		1			6	10	6	10	8	9	49	1	1	1	1	1	1	6
								1			1	1	3							
5	八代小	14		1			4	5	6	7	9	11	42	1	1	1	1	1	1	6
								1					1							
6	行幸小	24		1			31	33	41	39	52	40	236	1	1	2	2	2	2	10
							1	1			5	2	9							
7	長倉小	35	1	2			61	50	46	64	63	85	369	2	2	2	2	2	3	13
							3	6	5	5	6	4	29							
8	さかえ小	18		1			9	8	13	9	8	16	63	1	1	1	1	1	1	6
							2				1	2	5							
9	さくら小	26	1	1			45	42	63	58	67	68	343	2	2	2	2	2	2	12
							7	3	4	3	2	6	25							
合 計		198	3	11			246	232	257	268	309	329	1,641	13	13	13	13	14	15	81
							18	20	16	10	22	23	109							

(2)中学校

No.	学校名	教職員数					児童・生徒数(下段 特別支援学級)							学級数(下段 特別支援学級)						
		教員	栄養	事務	用務	給食	1年	2年	3年				合計	1年	2年	3年				合計
1	幸手中	36		1			123	131	121				375	4	4	4				12
							6	1	7				14							
2	東中	17		1			18	35	19				72	1	1	1				3
								4	1				5							
3	西中	35	1	1			150	157	196				503	5	4	5				14
							8	4	4				16							
合 計		88	1	3			291	323	336				950	10	9	10				29
							14	9	12				35							

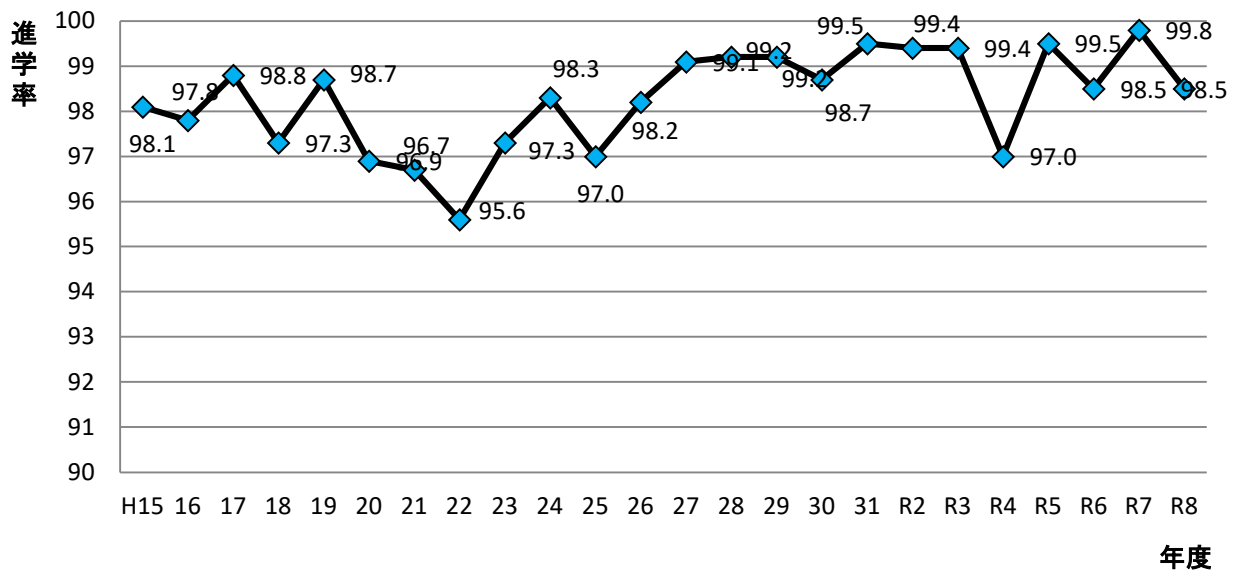
年 度		H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
小学校	学級数	98	99	99	102	96	94	94	101	104	106	108	110	108	105	106	106	103	102	105
	児童数	2,515	2,478	2,491	2,482	2,456	2,402	2,378	2,367	2,335	2,379	2,353	2,300	2,232	2,188	2,132	1,986	1,890	1,791	1,750
中学校	学級数	42	41	40	40	39	38	41	40	40	40	38	36	36	40	40	40	39	38	37
	生徒数	1,386	1,346	1,293	1,248	1,192	1,205	1,191	1,177	1,166	1,158	1,136	1,089	1,077	1,101	1,139	1,179	1,149	1,081	985

資料:学校基本調査

◆ 令和8年3月中学校卒業者の進路状況

進路状況				男	女	計	
進学	高等学校	全日制	県内	国立	0	0	0
			公立	122	134	256	
			私立	38	30	68	
			県外	国立	0	0	0
			公立	1	0	1	
			私立	22	8	30	
	定時制				2	1	3
	通信制				14	21	35
	高等専門学校				3	0	3
	特別支援学校				2	2	4
	小計				204	196	400
就職・その他	専修学校・各種学校等				0	0	0
	公共職業訓練施設等				0	0	0
	就職				2	0	2
	その他				2	2	4
	小計				4	2	6
合計(卒業者数)				208	198	406	

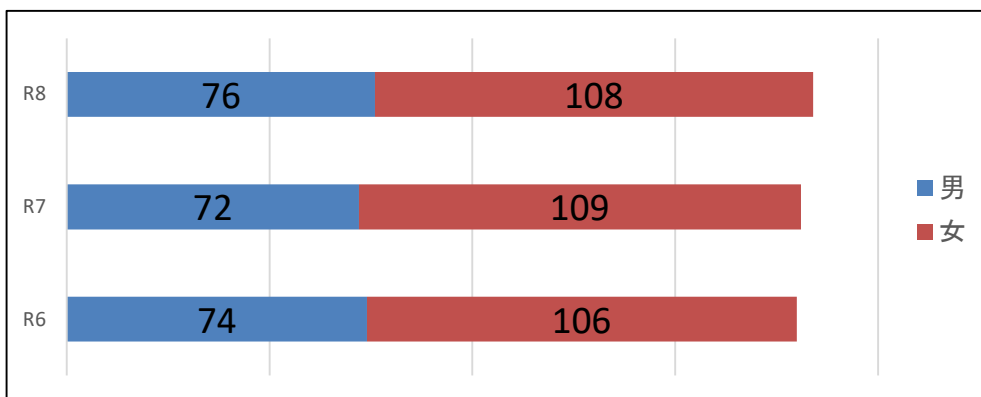
◆ 進学者の推移



◆ 教職員数の推移

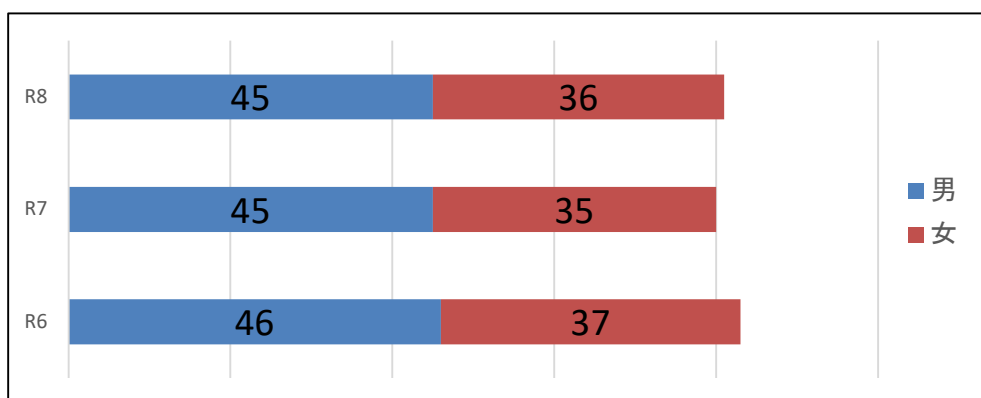
(1) 小学校

単位(人)



(2) 中学校

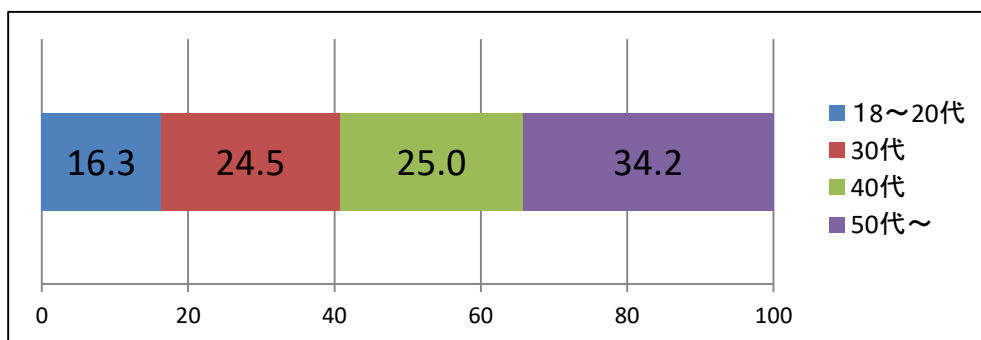
単位(人)



◆ 教職員の年齢構成

(1) 小学校

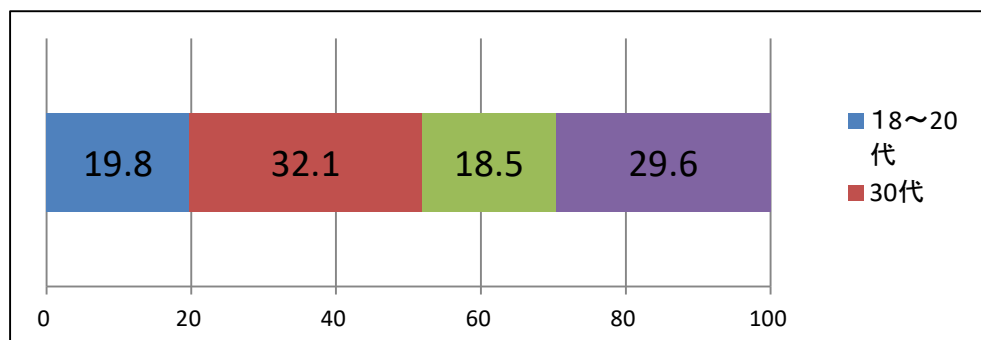
単位(%)



平均
43.4歳

(2) 中学校

単位(%)



平均
41.9歳

◆ 学校給食

(1)実施状況

①小学校

No	学 校 名	給 食 開始日	開始時期の 給 食 区 分	現行形態 開始時期	現行給食 区 分	給食費 月 額	現行給食費 実 施 日	備 考
1	幸 手 小	S32. 1. 21	補 食	S43. 12. 16	完 全	5,200	R8. 4. 1	自校調理方式
2	権 現 堂 川 小	S38. 10. 1	ミ ル ク	S43. 3. 1	〃	〃	〃	〃
3	上 高 野 小	S38. 10. 1	〃	S39. 4. 20	〃	〃	〃	〃
4	吉 田 小	S59. 4. 10	完 全		〃	〃	〃	〃
5	八 代 小	S38. 10. 1	ミ ル ク	S40. 3. 9	〃	〃	〃	〃
6	行 幸 小	S35. 3. 1	完 全		〃	〃	〃	〃
7	長 倉 小	S50. 5. 8	〃		〃	〃	〃	〃
8	さ か え 小	H15. 4. 11	〃	H15. 4. 11	〃	〃	〃	〃
9	さ く ら 小	H17. 4. 11	〃	H17. 4. 11	〃	〃	〃	〃

②中学校

No	学 校 名	給 食 開始日	開始時期の 給 食 区 分	現行形態 開始時期	現行給食 区 分	給食費 月 額	現行給食費 実 施 日	備 考
1	幸 手 中	S38. 10. 1	ミ ル ク	S59. 11. 25	完 全	5,430	R6. 4. 1	自校調理方式
2	東 中	S55. 4. 17	〃	S57. 10. 20	〃	〃	〃	〃
3	西 中	S53. 4. 17	〃	S58. 11. 1	〃	〃	〃	〃

(2)年間実施回数(完全給食)

区 分		給食回数		米 飯	めん類	パン類	牛 乳
		年間	週当り	自校自炊			
令和7年度 3学期制	小	183	5	128	17	38	183
	中	179	5	126	17	36	179
令和8年度 3学期制 (4月当初)	小	183	5	124	20	39	183
	中	182	5	123	20	39	182



(3) 1人1食当たりの平均栄養摂取状況

		熱量	たん白質	脂質	鉄	カルシウム	ビタミンA	ビタミンB1	ビタミンB2	ビタミンC	食物繊維	
		kcal	g	g	mg	mg	μgRE	mg	mg	mg	g	
令和7年度	小	648	25.5	22.0	3.3	336	207	0.46	0.49	31	4.5	
	中	810	31.5	26.5	4.4	412	263	0.58	0.57	36	5.8	
令和8年 6月予定	小	618	26.0	21.3	2.9	362	244	0.55	0.54	35	5.4	
	中	790	31.9	25.9	4.0	403	289	0.71	0.62	41	6.9	
基準 栄養量 (文科省) R3.2.12付 一部改正	小学校	低学年	530	21.2	14.7	2.0	290	160	0.30	0.40	20	4以上
		中学年	650	26.0	18.1	3.0	350	200	0.40	0.40	25	4.5以上
		高学年	780	31.2	21.7	3.5	360	240	0.50	0.50	30	5以上
	中学校	830	33.2	23.1	4.5	450	300	0.50	0.60	35	7以上	

(4)献立例

小学校



メニュー名

- ・ 麦ご飯
- ・ 手作り和風ハンバーグ
- ・ 切り干し大根の炒め煮
- ・ じゃがいものみそ汁
- ・ 牛乳

中学校



メニュー名

- ・ ピザトースト
- ・ ツナサラダ
- ・ 牛乳
- ・ クリームシチュー

◆ 指定文化財及び刊行物

(1) 県指定文化財

No.	名 称	所 在 地	種 別	指定年月日
1	幸手義賑窮餓之碑	北1-10-3	史 跡	昭和14年3月31日

(2) 市指定文化財

No.	名 称	所 在 地	種 別	指定年月日
1	橘守部の書	大字下字和田58-4	有形文化財書跡	昭和58年3月24日
2	マリア地蔵	大字権現堂175	有形民俗文化財	昭和58年3月24日
3	下川崎石投げ踊り	大字下川崎香取神社	無形民俗文化財	昭和58年3月24日
4	千塚ささら獅子舞	大字千塚千塚神社	無形民俗文化財	昭和58年3月24日
5	松石ささら獅子舞	大字松石香取神社	無形民俗文化財	昭和58年3月24日
6	高須賀大杉ばやし	大字高須賀大杉神社	無形民俗文化財	昭和58年3月24日
7	将門の首塚	大字神明内1470	史 跡	昭和58年3月24日
8	順礼の碑	大字内国府間権現堂堤	史 跡	昭和58年3月24日
9	日光街道道しるべ	大字外国府間626地先	史 跡	昭和58年3月24日
10	御成街道道しるべ	大字上高野3065-5地先	史 跡	昭和58年3月24日
11	行幸堤・権現堂堤	大字内国府間桜堤上	名 勝	昭和58年3月24日
12	聖福寺勅使門	北1-9-27	有形文化財建造物	平成3年4月1日
13	幸宮神社本殿の彫刻	中4-11-30	有形文化財彫刻	平成3年4月1日
14	円空仏	大字下字和田58-4	有形文化財彫刻	平成3年4月1日
15	権現堂堤修復絵馬	北3-10-19	有形民俗文化財	平成3年4月1日
16	吉羽家文書	大字下字和田58-4	有形文化財古文書	平成10年4月1日
17	岸本家文書	中2-1-9	有形文化財古文書	平成10年4月1日
18	巻島家文書	北3-9-27	有形文化財古文書	平成10年4月1日
19	紙本墨書 大般若波羅蜜多經 付けんどん箱(子～亥)12箱	南3-5-6	有形文化財典籍	平成10年4月1日
20	天神島天神神社所蔵資料 (社殿内保管分一括)	大字天神島279	有形文化財歴史資料	平成10年4月1日
21	金子家文書	大字上吉羽336-1	有形文化財古文書	平成16年4月1日
22	中村家文書	大字下字和田58-4	有形文化財古文書	平成16年4月1日
23	橘守部翁遺蹟碑	北1-17-59	史 跡	平成16年4月1日
24	柳剛流祖岡田先生之碑	大字西関宿1-1	史 跡	平成16年4月1日

No.	名 称	所 在 地	種 別	指定年月日
25	本因坊第八世 伯元の墓石	大字天神島248	有形文化財歴史資料	平成26年5月1日
26	本因坊第九世 察元の墓石	大字平須賀3018	有形文化財歴史資料	平成26年5月1日
27	本因坊第十世 烈元の墓石	大字上吉羽396	有形文化財歴史資料	平成26年5月1日
28	浅間神社本殿の彫刻 付本社再建奉納額	北2-4-28	有形文化財彫刻	平成26年5月1日
29	千日念仏廻向供養塔	北3-763-1	有形文化財歴史資料	平成29年5月1日
30	一色照直寄進状	平須賀2-458	有形文化財古文書	平成31年3月1日
31	上戸の蛇打ち・蛇引き	戸島1-57香取神社 外	無形民俗文化財	令和3年2月1日
32	浜田得一撮影幸手町記録写真集	大字下宇和田58-4	有形文化財歴史資料	令和4年3月23日
33	川嶋家文書	大字下宇和田58-4	有形文化財古文書	令和4年3月23日
34	伝 彰義隊士横山光造所用陣笠	大字下宇和田58-4	有形文化財歴史資料	令和6年2月14日
35	本因坊第十世烈元の書状と生家伝 来の碁盤	大字下宇和田58-4	有形文化財歴史資料	令和7年3月19日
36	絵馬師大久保景岳作 小路精蔵収 集 幸手の小絵馬	大字下宇和田58-4	有形民俗文化財	令和8年2月9日

(3) 国登録有形文化財

No.	名 称	所 在 地	種 別	登録年月日
1	岸本家住宅主屋	中2-6249-1外	登録有形文化財(建造物)	平成21年11月2日



絵馬師大久保景岳作 小路精蔵収集 幸手の小絵馬

(4) 市史編さん関係刊行物一覧

単位(円)

No.	名 称	発 行 日	頒布価格
1	幸手市史 通史編 I	平成14年6月28日	4,000
2	幸手市史 通史編 II	平成15年3月20日	3,000
3	幸手市史 考古資料編	平成14年3月27日	2,000
4	幸手市史 古代・中世資料編	平成7年10月1日	3,000
5	幸手市史 近世資料編 I	平成8年3月15日	3,000
6	幸手市史 近世資料編 II	平成10年3月25日	3,000
7	幸手市史 近・現代資料編 I	平成10年3月25日	3,000
8	幸手市史 近・現代資料編 II	平成11年3月25日	3,000
9	幸手市史 民俗編	平成9年3月25日	3,000
10	幸手市史 自然環境編 I 地形と気候	平成6年8月31日	1,500
11	幸手市史 自然環境編 II 植物と動物	平成12年3月24日	2,000
12	幸手市史 特別版 幸手歴史物語 川と道	平成14年1月30日	2,000
13	幸手市史調査報告書 第1集 吉羽家文書目録	平成元年3月31日	1,000
14	幸手市史調査報告書 第2集 船川家文書目録	平成2年3月30日	1,000
15	幸手市史調査報告書 第3集 岸本家・巻島家文書目録	平成3年3月20日	1,000
16	幸手市史調査報告書 第4集 中村家文書目録	平成4年3月30日	1,000
17	幸手市史調査報告書 第5集 川嶋家・増田家・麻生家文書目録	平成5年3月19日	1,000
18	幸手市史調査報告書 第6集 金子家文書目録	平成6年3月25日	1,000
19	幸手市史調査報告書 第7集 幸手の民家	平成7年3月17日	在庫なし
20	幸手市史調査報告書 第8集 幸手地区諸家文書目録	平成11年3月25日	1,000
21	幸手市史調査報告書 第9集 幸手一色氏一系図から伝承まで一	平成12年3月24日	在庫なし
22	幸手市史調査報告書 第10集 村と町一往時の幸手一	平成13年3月26日	1,000

(5) 市文化財関係刊行物一覧

単位(円)

No.	名 称	発 行 日	頒布価格
1	幸手町歴史散歩	昭和60年6月20日	絶版
2	幸手町歴史散歩(パンフレット)	昭和62年3月31日	絶版
3	幸手町歴史散歩(パンフレット) ※平成13年3月30日新文化財マップ作成により頒布を中止	平成5年3月	絶版
4	幸手町の板石塔婆	昭和55年3月31日	350
5	幸手町の絵馬	昭和58年11月1日	在庫なし
6	幸手町民具写真集	昭和59年12月1日	500
7	幸手の道しるべ	昭和61年3月31日	400
8	幸手の職人芸	昭和62年3月31日	500
9	幸手町のかたりべ(関東大震災編)	昭和58年3月31日	500
10	幸手町のかたりべ(昭和22年大水害編)	昭和59年3月31日	500
11	幸手町のかたりべ(銃後編)	昭和60年3月30日	500
12	テープ 幸手のかたりべ 3巻セット	昭和63年3月31日	3,000
13	幸手の記念碑	平成元年3月31日	500
14	幸手市埋蔵文化財発掘調査報告書 第1集 槇野地北・槇野地西遺跡	平成4年3月31日	500
15	幸手市お祭りマップ	平成3年3月31日	無償
16	幸手八景絵はがき	平成3年11月15日	無償
17	幸手市文化財マップ	平成13年3月30日	絶版
18	幸手市文化財マップ(改訂版)	平成15年5月31日	絶版
19	幸手市文化遺産調査報告書 第1集 幸手の石造物Ⅰ 幸手地区	平成17年3月25日	1,500
20	幸手市文化遺産調査報告書 第2集 幸手の石造物Ⅱ 吉田地区①	平成18年3月24日	1,500
21	幸手市文化遺産調査報告書 第3集 幸手の石造物Ⅲ 吉田地区②	平成19年3月9日	1,500
22	幸手市文化遺産調査報告書 第4集 幸手の石造物Ⅳ 幸手地区②・行幸地区・長倉地区	平成20年3月24日	1,500
23	幸手市文化遺産調査報告書 第5集 幸手の石造物Ⅴ 権現堂川地区・八代地区①	平成21年3月25日	1,500
24	幸手市文化遺産調査報告書 第6集 幸手の石造物Ⅵ 八代地区②・上高野地区・補遺資料	平成22年3月25日	1,500

市民憲章

わたしたちは、自然と産業の調和した豊かで住みよい魅力ある郷土「さって」を目ざして、ここに市民憲章を定めます。

- 1 自然の風土を愛し、自分たちの手で美しい郷土をまもります。
- 1 おたがいの人権をみとめあい、平和な明るい郷土をつくります。
- 1 子どもから老人まで、生涯にわたってスポーツを楽しむ、健康な郷土を育てます。
- 1 まちの歴史を見なおしながら、文化財を大切にし、文化のかおり高い郷土を培います。
- 1 はたらくよろこびに生き、しあわせな家庭をもとに、みんなの力を合わせて、伸びゆく郷土とともに進みます。

文化都市宣言

さくら 夏祭り 黄金〈こがね〉の波 きれいな空
古い伝統 豊かな自然が 育んだ 故郷〈ふるさと〉という宝物
みんなで尊〈とうと〉び 手に手をとって 未来へ引き継ごう
桜堤 利根川 緑の田園 美しい街並
義人の心 先人の努力と叡智〈えいち〉で 築かれた 郷土の文化
みんなで護〈まも〉り 手に手をとって 埼玉へ広げよう
思いやり 健康 潤い 進歩
今のわたしたちが 培〈つちか〉い創〈つく〉る 新しい文化
みんなで学び 手に手をとって 次の世代へ伝えよう
活力ある 文化の薫〈かお〉りたかい わたしたちの 幸手
無限の発展を願い 永久〈とわ〉の平和を誓い
市制施行にあたり
幸手市を「文化都市」。とすることを宣言する

昭和 61 年 10 月 1 日

幸 手 市

平和都市宣言

私たちの郷土「さって」は、美しい自然に恵まれ、市民の日々安らかなくらしがその上にある。

更に市民一人ひとりが尊重され希望と誇りをもって豊かな社会を築き、次代に引き継ぐことを念願として新しいまちづくりに努力している。

しかし、いま、このかけがえのない郷土や地球上の生きとし生けるもののいのちとこれまで人々が築き上げてきた貴重な文化が、戦争によってそのすべてを失いかねない脅威にさらされている。

私たちは、戦いによって傷つけあうことの愚かさを憂えるとともに、「非核三原則」の国是を堅持して世界の恒久平和が確立されることを願い、ここに平和都市を宣言する。

平成 2 年 4 月 1 日

幸 手 市

健康ふれあいスポーツ都市宣言

私たちは、生涯にわたってスポーツに親しみ、健康な心と体をつくり、ふれあいとやすらぎのあるまち・幸手市をめざし、ここに「健康ふれあいスポーツ都市」を宣言します。

- 1 スポーツに親しみ、健康な心と体をつくります。
- 1 スポーツを楽しみ、明るい生活をおくります。
- 1 スポーツを愛し、友情とふれあいの輪をひろげます。
- 1 スポーツを通して、ゆとりと活力のある幸手市をつくります。

平成3年10月1日

幸手市

幸手市民歌

しあわせ風景

作詞 石坂まさを
作曲 石坂まさを
編曲 藤田まさたか

- 1 咲き薫る 花は桜か こもれ日に 小鳥の音がする
瞳と瞳 見交して
明日と云う日を 語る時
新しい春が来る 新しい春が来る 我が幸手市に
- 2 水清き 川の流れのやさしさに 魚の背が光る
子供と共に 歩く土手
匂いほのかに 月見草
爽やかな夏が来る 爽やかな夏が来る 我が幸手市に
- 3 黄金なり 実る稲穂の田の道を 祭りの笛太鼓
あの窓 この窓 ゆうげどき
一家だんらん ほのぼのと
楽しげな秋が来る 楽しげな秋が来る 我が幸手市に
- 4 見上げれば 日光連山雪化粧 あなたの白い息
一人が一人にこだまして
響く歌声 高らかに
暖かい冬が来る 暖かい冬が来る 我が幸手市に

幸手市民体操歌

幸せの手

作詞 石坂まさを
作曲 石坂まさを
編曲 京建輔

- サッテ サテ サッテ サテ
サッテ サテ サッテ サテ
- 1 空に伸ばせば 太陽つかみ
川にもぐらしゃ ナマズをつかむ
僕のこの手は 不思議な手
サッテ サテ サッテ サテ 何の手だ
サッテ サテ サッテ サテ 何の手だ
明日をつかむ 幸せの手だ
そよ風 そよそよ 緑も揺れて
幸手は ふれあい 友達のまち
- 2 あなたの名前を 手のひらに書き
まぶたを閉じれば あなたが見える
私のこの手は 夢みる手
サッテ サテ サッテ サテ 何の手だ
サッテ サテ サッテ サテ 何の手だ
恋人おもいの 幸せの手だ
桜やさしく ひばりが歌い
幸手は ふれあい やすらぎのまち
- 3 拳を握れば 力が湧いて
指をひらけば 未来がひかる
みんなのこの手は 魔法の手
サッテ サテ サッテ サテ 何の手だ
サッテ サテ サッテ サテ 何の手だ
くらしを築く 幸せの手だ
あの窓 この窓 夕げの匂い
幸手は ふれあい 幸せのまち

幸手市の花・木の制定

自然に親しみ、植物を愛し、緑に囲まれた美しく豊かな住みよいまちにするため、幸手市の花、幸手市の木を次のように定める。

昭和 55 年 11 月 7 日制定

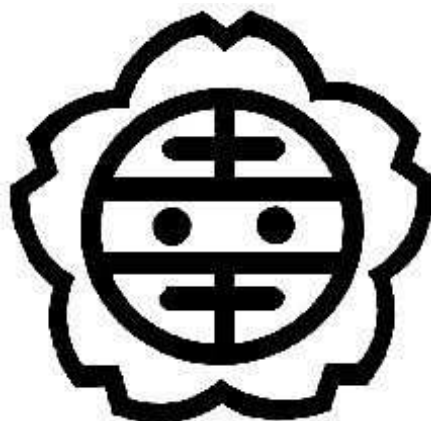


幸手市の花 さくら



幸手市の木 榎

幸手市章



さくらの花びらと幸手の頭文字「幸」を図化したもの。さくらの花の美しさを象徴し、住民の融和としあわせを表現したものである。

幸 手 の 教 育

(令和8年度版)

発 行 日 令和8年6月

編集・発行 幸手市教育委員会

〒340-0192

埼玉県幸手市東4丁目6番8号

TEL 0480-43-1111(代)